

計算書類に対する注記（法人全体用）

1. 継続事業の前提に関する注記

2. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物、構築物、機械及び装置、車両運搬具、器具及び備品…定額法
- (2) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金…秋田県民間社会事業福利協会

3. 重要な会計方針の変更

- ・該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

- (1) 独立行政法人福祉医療機構
- (2) 秋田県民間社会事業福利協会

5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人が作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類（第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式）
- (2) 事業区分別内訳表（第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式）については作成していない。
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
- (4) 公益事業における拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）については公益事業を実施していないため作成していない。
- (5) 収益事業における拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）については公益事業を実施していないため作成していない。
- (6) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
 - ア 本部拠点（社会福祉事業）
 - 「本部」
 - イ 竹生寮拠点（社会福祉事業）
 - 「障害者支援施設竹生寮」
 - ・生活介護事業
 - ・短期入所事業
 - ・施設入所支援事業
 - ・相談支援事業
 - ・障害児相談支援事業
 - ・放課後等デイサービス事業
 - ・日中一時支援事業
 - ウ 柳田新生寮拠点（社会福祉事業）
 - 「障害者支援施設柳田新生寮」
 - ・生活介護事業
 - ・短期入所事業
 - ・施設入所支援事業
 - ・日中一時支援事業
 - エ ほっとばんぶー拠点（社会福祉事業）
 - 「障害福祉サービス事業所ほっとばんぶー」
 - ・生活介護事業
 - オ きらっと拠点（社会福祉事業）
 - 「障害福祉サービス事業所きらっと」
 - ・生活介護事業
 - カ ささこやま拠点（社会福祉事業）
 - 「共同生活援助事業所ささこやま」
 - ・共同生活援助事業
 - キ 雪やなぎ拠点（社会福祉事業）
 - 「共同生活援助事業所雪やなぎ」
 - ・共同生活援助事業

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	126,699,419	1,104,437	0	127,803,856
建物	558,816,758	204,945,761	169,829,393	593,933,126
合計	685,516,177	206,050,198	169,829,393	721,736,982

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

・該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

計	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

計	0 円
計	0 円

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地(基本)	127,803,856	0	127,803,856
建物(基本)	1,356,301,647	762,368,521	593,933,126
構築物	13,876,700	13,876,693	7
機械及び装置	172,662,078	150,950,746	21,711,332
車輛運搬具	71,812,156	59,374,836	12,437,320
器具及び備品	75,259,681	64,795,421	10,464,260
合計	1,817,716,118	1,051,366,217	766,349,901

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
	0	0	0
合計	0	0	0

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
	0	0	0

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
合計	0	0	0

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位：円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事業上の関係				

取引条件および取引条件の決定方針等

13. 重要な偶発債務

- ・該当なし

14. 重要な後発事象

- ・該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするために必要な事項

- ・該当なし

計算書類に対する注記（本部拠点区分用）

1. 重要な会計方針

・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

・該当なし

3. 採用する退職給付制度

・該当なし

4. 拠点が作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 本部拠点区分計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
- (2) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3(⑩)）はサービス区分が一つのため作成していない。
- (3) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3(⑪)）はサービス区分が一つのため作成していない。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

・該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

	0 円
計	0 円

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	0	0	0
合計	0	0	0

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
	0	0	0
合計	0	0	0

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

- ・該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするために必要な事項

- ・該当なし

計算書類に対する注記（竹生寮拠点区分用）

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物、構築物、機械及び装置、車輛運搬具、器具及び備品…定額法
- (2) 引当金の計上基準
 - ・退職給与引当金…秋田県民間社会事業福利協会

2. 重要な会計方針の変更

- ・該当なし

3. 採用する退職給付制度

- (1) 独立行政法人福祉医療機構
- (2) 秋田県民間社会事業福利協会

4. 拠点が作成する計算書類等とサービス区分

- 当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
- (1) 竹生寮拠点計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
 - (2) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3(Ⅹ)）
 - ア 生活介護事業
 - イ 短期入所事業
 - ウ 施設入所支援事業
 - エ 相談支援事業
 - オ 障害児相談支援事業
 - カ 放課後等デイサービス事業
 - キ 日中一時支援事業
 - (3) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3(Ⅺ)）
 - ア 生活介護事業
 - イ 短期入所事業
 - ウ 施設入所支援事業
 - エ 相談支援事業
 - オ 障害児相談支援事業
 - カ 放課後等デイサービス事業
 - キ 日中一時支援事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	37,004,769	1,104,437	7,976,640	30,132,566
建物	173,338,648	0	21,908,645	151,430,003
合計	210,343,417	1,104,437	29,885,285	181,562,569

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

- ・該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

計	0 円
	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

0 円

計

0 円

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地（基本）	44,027,816	13,895,250	30,132,566
建物（基本）	527,995,677	376,565,674	151,430,003
構築物	11,562,290	11,562,284	6
機械及び装置	47,142,780	36,949,835	10,192,945
車輛運搬具	38,814,750	30,398,096	8,416,654
器具及び備品	42,524,501	36,373,727	6,150,774
合計	712,067,814	505,744,866	206,322,948

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
	0	0	0
合計	0	0	0

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

・該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするために必要な事項

・該当なし

計算書類に対する注記（柳田新生寮拠点区分用）

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物、構築物、機械及び装置、車輛運搬具、器具及び備品…定額法
- (2) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金…秋田県民間社会事業福利協会

2. 重要な会計方針の変更

- ・該当なし

3. 採用する退職給付制度

- (1) 独立行政法人福祉医療機構
- (2) 秋田県民間社会事業福利協会

4. 拠点が作成する計算書類等とサービス区分

- 当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
- (1) 柳田新生寮拠点計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
 - (2) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3(⑩)）
 - ア 生活介護事業
 - イ 短期入所事業
 - ウ 施設入所支援事業
 - エ 日中一時支援事業
 - (3) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3(⑪)）
 - ア 生活介護事業
 - イ 短期入所事業
 - ウ 施設入所支援事業
 - エ 日中一時支援事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	18,853,650	0	0	18,853,650
建物	140,571,422	0	8,826,717	131,744,705
合計	159,425,072	0	8,826,717	150,598,355

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

- ・該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

計	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

計	0 円
計	0 円

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地（基本）	18,853,650	0	18,853,650
建物（基本）	422,716,800	290,972,095	131,744,705
構築物	2,314,410	2,314,409	1
機械及び装置	41,399,398	31,089,127	10,310,271
車輛運搬具	19,583,529	17,719,222	1,864,307
器具及び備品	25,282,776	21,922,443	3,360,333
合計	530,150,563	364,017,296	166,133,267

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
	0	0	0
合計	0	0	0

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

- ・該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするために必要な事項

- ・該当なし

計算書類に対する注記（ほっとばんぶー拠点区分用）

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物、機械及び装置、車輛運搬具、器具及び備品…定額法
- (2) 引当金の計上基準
 - ・退職給与引当金…秋田県民間社会事業福利協会

2. 重要な会計方針の変更

- ・該当なし

3. 採用する退職給付制度

- (1) 独立行政法人福祉医療機構
- (2) 秋田県民間社会事業福利協会

4. 拠点が作成する計算書類等とサービス区分

- 当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
- (1) ほっとばんぶー拠点計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
 - (2) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3(⑩)）はサービス区分が一つのため作成していない。
 - (3) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3(⑪)）はサービス区分が一つのため作成していない。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	0	55,293,400	2,303,890	52,989,510
合計	0	55,293,400	2,303,890	52,989,510

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

- ・該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

計	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

計	0 円
計	0 円

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本）	108,282,870	55,293,360	52,989,510
機械及び装置	81,190,400	79,982,285	1,208,115

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	12,533,877	10,819,186	1,714,691
器具及び備品	6,763,796	6,268,244	495,552
合計	208,770,943	152,363,075	56,407,868

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
	0	0	0
合計	0	0	0

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

・該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするために必要な事項

・該当なし

計算書類に対する注記（きらっと拠点区分用）

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物、機械及び装置、器具及び備品…定額法
- (2) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金…秋田県民間社会事業福利協会

2. 重要な会計方針の変更

- ・該当なし

3. 採用する退職給付制度

- (1) 独立行政法人福祉医療機構
- (2) 秋田県民間社会事業福利協会

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) きらっと拠点計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
- (2) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3（⑩））はサービス区分が一つのため作成していない。
- (3) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3（⑪））はサービス区分が一つのため作成していない。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	0	7,976,640	0	7,976,640
建物	0	86,561,911	3,453,619	83,108,292
合計	0	94,538,551	3,453,619	91,084,932

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

- ・該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

	0 円
計	0 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地（基本）	7,976,640	0	7,976,640
建物（基本）	97,688,250	14,579,958	83,108,292
機械及び装置	2,929,500	2,929,499	1
器具及び備品	147,960	26,768	121,192
合計	108,742,350	17,536,225	91,206,125

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
	0	0	0
合計	0	0	0

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

- ・該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするために必要な事項

- ・該当なし

計算書類に対する注記（ささこやま拠点区分用）

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
・建物、器具及び備品…定額法

2. 重要な会計方針の変更

- ・該当なし

3. 採用する退職給付制度

- ・該当なし

4. 拠点が作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) ささこやま拠点計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
 (2) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3(⑩)）
 ア ささこやま
 イなのはな
 (3) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3(⑪)）
 ア ささこやま
 イなのはな

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	70,841,000	0	43,000,000	27,841,000
建物	224,669,970	0	129,549,420	95,120,550
合計	295,510,970	0	172,549,420	122,961,550

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

- ・該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

	0 円
計	0 円

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地（基本）	27,841,000	0	27,841,000
建物（基本）	103,572,000	8,451,450	95,120,550
器具及び備品	235,440	156,960	78,480
合計	131,648,440	8,608,410	123,040,030

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
	0	0	0
合計	0	0	0

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

- ・該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするために必要な事項

- ・該当なし

計算書類に対する注記（雪やなぎ拠点区分用）

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
・建物、車輛運搬具、器具及び備品…定額法

2. 重要な会計方針の変更

- ・該当なし

3. 採用する退職給付制度

- ・該当なし

4. 拠点が作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 雪やなぎ拠点計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
 (2) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3(⑩)）
 ア 雪やなぎ
 イ あいあいホーム
 (3) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3(⑪)）
 ア 雪やなぎ
 イ あいあいホーム

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	0	43,000,000	0	43,000,000
建物	20,236,718	63,090,450	3,787,102	79,540,066
合計	20,236,718	106,090,450	3,787,102	122,540,066

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

- ・該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

	0 円
計	0 円

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地	43,000,000	0	43,000,000
建物（基本）	96,046,050	16,505,984	79,540,066
車輛運搬具	880,000	438,332	441,668
器具及び備品	305,208	47,279	257,929
合計	140,231,258	16,991,595	123,239,663

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
	0	0	0
合計	0	0	0

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

- ・該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするために必要な事項

- ・該当なし